

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/05/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.37	0.11
JPY/THB	0.2291	0.0010
USD/JPY	145.70	0.03
EUR/THB	37.16	-0.01
EUR/USD	1.1163	-0.0024
USD/CNH	7.211	0.006
SGD/THB	25.65	0.05
AUD/THB	21.37	0.08
USD/INR	85.52	-0.03
USD Index	101.09	0.21

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.648	-0.005
10Y (THB)	1.867	-0.016
5Y (USD)	4.093	0.039
10Y (USD)	4.477	0.046

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,187.2	-39.4
WTI (Oil)	62.49	0.87
Copper	9,447.5	-129.5

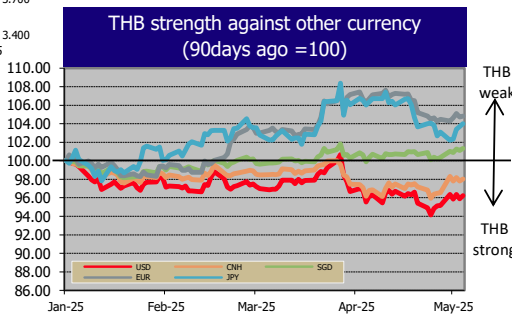
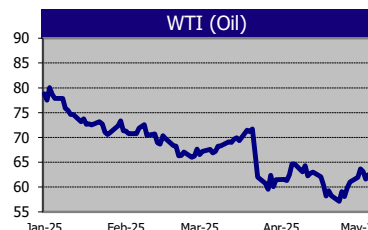
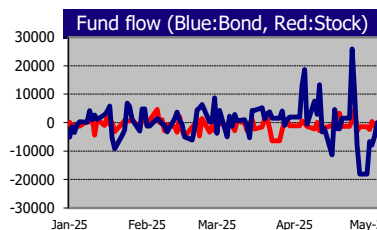
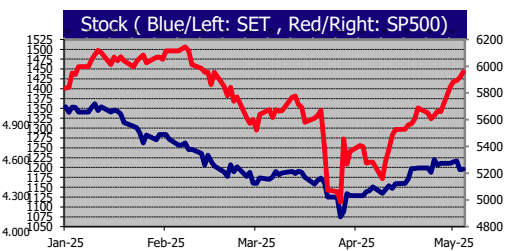
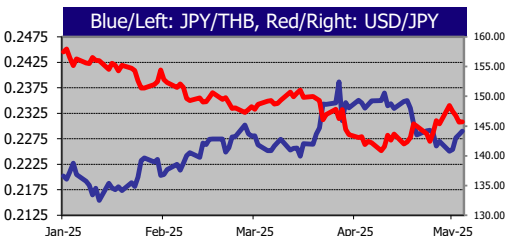
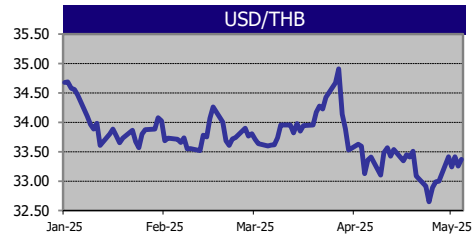
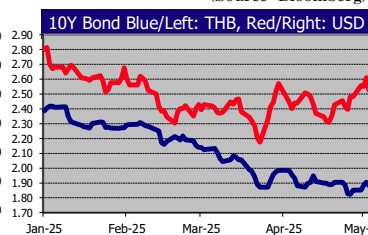
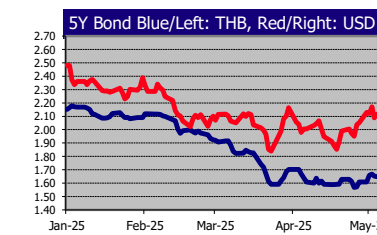
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,195.77	1.28
NIKKEI (JP)	37,753.72	-1.79
DOW (US)	42,654.74	331.99
S&P500 (US)	5,958.38	41.45
SHCOMP (CN)	3,367.46	-13.36
DAX(GER)	23,767.43	71.84

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,149)	23.5
Bond net flow	42	4818.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

16日(金)のドルパーツは上昇。33パーツ台前半でスタート。タイのピチャイ財務相が景気刺激策を計画していると示したことを背景に、パーツ買いが先行したが、欧州時間に入ると、ドル買い優勢に転じた。NY時間に発表された5月ミシガン大学消費者信頼指数(速報値)が悪化した一方で、1年先のインフレ期待が記録的高水準となったことが確認されると、米金利の上昇とともにドル買いが加速。終盤にかけて米国価格下げのヘッドラインを受けて失速し、33.37レベルでクローズ。

●ドル円その他

16日(金)のドル円は行ってこい展開となった。145円台後半でスタート。東京仲値にかけてドル売りが先行し、一時145円ちょうど付近まで下落。売り一巡後は145円台前半で上値重く推移。NY時間に発表された米消費者センチメントが弱かったが、1年先のインフレ期待が高水準となったことで、米金利の上昇を横目に146円ちょうど付近まで急伸。クローズ間際に米国価格下げのヘッドラインを受けて失速し、145.70レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

先週金曜日、大手格付け会社が米国債の格付けを引き下げ、最上位のAaaからAa1へ一段階引き下げた。引き下げの背景について、財政赤字が縮小する兆しが見られないことをあげた。トランプ政権としては関税を賦課し、得た税収で減税を行うと画策していたはずだが、減税を進める上での足かせとなりそう

だ。これを受けて、16日の海外市場では米国債が下落(金利は上昇)しドル高が進んだ。しかしながら、週明けとなる本日の為替市場ではドルが対主要通貨で売り返されており、ドル円は145円近辺まで下落している。円に次いで上昇しているのがスイスフランであり、安全資産とされる円・スイスフランが買われていることから、リスク回避的な値動きが見て取れる。

4月以降、『ドル離れ』の動きが注目を浴びていただけに、今回の格下げはトランプ政権にとっても痛手となろう。4月に相互関税を発表した後、米国債が急落し90日間の一時停止を発表するに至ったとの見方もあり、今回も関税・減税策の見直しを迫られるか。トランプ政権は一時停止期間の延長はないとしているが、期限を迎える7月上旬までに各国との交渉が進展していなかった場合や、金融市場が不安定なままだった場合には延長するとの判断もあり得るか。(綱島)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.